

“なでしこ幼稚園の教育”では、こどもたちが幼稚園でどのような生活や遊びをしているのかをお伝えします。

令和3年12月

江東区立なでしこ幼稚園

園長 松岡 克恵



江東区立

## なでしこ幼稚園の教育



毎週金曜日にHP  
「こどもたちの活動」を  
更新しています。保育の  
様子がわかります。  
どうぞご覧ください。

きれいだった秋色の葉っぱが落ち、裸の木々が寒そうです。季節の移り変わりを感じますね。今年も残り少なくなってきました。

なでしこ幼稚園では先日、年長組のこども会（劇遊びの会）が行なわれました。区立幼稚園の劇遊びは絵本を基にお話を考えたり生活や遊びの中で楽しかったことをみんなで話し合っって創作劇をしたりします。はじめに台本があって役やセリフを割り当てていくのは比較的簡単なのですが、完成形が見えない中、新しいものを創り出していくのですから時間がかかります。「どういうお話にする？」「誰が出てくることにする？」「どんなものが必要な・・・」等を先生とこどもたちで相談しながら進めていきます。大道具や小道具もこどもたちが作ります。今年の年長組は絵本を基に2つの劇をしました。

「ぼんたのじどうはんばいき」（ひさかたチャイルド）

ぼんたは自動販売機を作りました。「上の口から葉っぱを入れて欲しいものをお願いします」という紙を貼り、ぼんたは自動販売機の後ろに隠れます。動物が次々にやって来て葉っぱを入れながら欲しい物を言います。ぼんたは、葉っぱを冠やバナナ、バッグ等（絵本とは違ってこどもたちが欲しい物にしました）に変えて自動販売機から出します。みんな大喜び！最後に「お友達が欲しい」と言われたときは困ってしまいます。



「どろぼうがっこう」（偕成社）は「山また山の村はずれに泥棒学校がありました。」から始まる かこさとしさんの絵本です。こどもたちが、ガラの悪い泥棒になり、宿題をやったりみんなと遠足に行ったりします。大金持ちの家だと思って入ったところは・・・。



どちらの劇も自分たちで創ったという思いがあるので一人一人が自分の役を楽しんでいました。また、学級の友達と力を合わせて一つの事に取り組むことやお客さんに見てもらふこと、劇を進めていく上で必要なこと（例えば、大きい声で言う、～を片付ける、～を出す、電気を消す等）を自分がしっかりすることで楽しい劇になるということも感じていました。こども会を終えたこどもたちは自信に満ち溢れていました。



令和4年度  
入園希望者 追加申込  
受付中です。

まだ、入園申込みをしていない方、江東区内に引っ越された方、保育園に通っていたけど幼稚園教育を受けさせたいとお考えの方、どうぞなでしこ幼稚園においでください。

対象：平成29年4月2日～平成30年4月1日までに生まれた方